

# クラシックのエントランス

すぐ目の前、手が届くところにある感動と発見。  
ファンはもちろん、苦手な貴方にもお勧めのクラシック音楽入門篇。



Chapter  
**21**

2006 **10/1**  
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

Chapter  
**22**

2007 **1/28**  
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

Chapter  
**23**

2007 **2/18**  
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

**上松美香**  
ハルバ

**十藤間仁**  
チェンバロ



中南米のハープ、アルパ。その透明な音色は、聴く者の疲れた心をそっと癒してくれます。日本ナンバーワンのアルパ奏者・上松美香が、やすらぎの時間をお贈りします。

**江崎浩司**  
リコーダー

**十長久真実子**  
チェンバロ



photo: K.Miura

17世紀～18世紀のバロック音楽を支えた楽器、リコーダーとチェンバロ。いずれも優しい音色が魅力のこの楽器が現代に蘇ります。クラシックからジャズの名曲までお楽しみください。

**大森智子**  
ソプラノ

**十白石光隆**  
ピアノ




音楽史上最強の楽器＝肉声と、一番広い音域を持つ楽器＝ピアノ。大森智子＆白石光隆の息のぴったり合った名コンビが、クラシック音楽が本来持っている「楽しさ」を伝えます。

江崎浩司＋十長久真実子 楽器レクチャー

- 1月27日①19:00～
- 参加費500円（公演チケットをお持ちの方は無料）
- 事前にお電話でお申し込みください。

大森智子＋白石光隆 楽器レクチャー

- 2月17日①19:00～
- 参加費500円（公演チケットをお持ちの方は無料）
- 事前にお電話でお申し込みください。

助成：財団法人地域創造  
制作協力：社団法人日本クラシック音楽事業協会

会場◆黒部市国際文化センターコラーレ（マルチホール）

全席自由  
珈琲・紅茶付

〈各回〉一般：2,000円 高校生以下：1,000円  
〈3回通し〉一般：5,000円 高校生以下：2,500円

主催／財団法人黒部市国際文化センター 共催／北日本新聞社  
後援／黒部市・黒部市教育委員会・黒部市社会福祉協議会

■この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。  
■5歳未満のお子様のお入りはご遠慮願います。■公演中の一時保育（無料）を希望される方は事前にご連絡ください。

●お問い合わせ・チケットの申込み  
コラーレ 富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207  
http://www.colare.jp/ e-mail:info@colare.jp  
開館時間：9:30～22:30（土曜～23:00）／毎週水曜休館

プレイ  
ガイド

- （黒部市）コラーレ……………☎0765(57)1201
- メルシー……………☎0765(54)2221
- （魚津市）魚津サンプラザ……………☎0765(24)3030
- （入善町）コスモホール……………☎0765(72)1105
- コスモ21……………☎0765(74)9100
- （朝日町）アスカ……………☎0765(82)2000
- （滑川市）サン・アビリティーズ……………☎076(475)3342
- （富山市）インフォマート「市民プラザ」……………☎076(491)0110
- 〔CIC駅前店〕……………☎076(444)7013
- アルプラザ富山（ファール内）……………☎076(466)1828
- （高岡市）高岡市生涯学習センター3F……………☎0766(20)1800

Chapter  
21  
2006  
10/1  
E  
■開場 13:30 ■開演 14:00



上松 美香

上松美香 AGEMATSU Mika (アルパ)

13歳の頃より母親からアルパを習い始める。  
1998年、16歳でバラグアイ国最大の音楽祭「グアランパレ・フェスティバル」に日本人として初めて出演し、「特別賞」を受賞。アグスティン・バルボーサ音楽財団より金メダルを授与される。  
1999年第2回全日本アルパコンクール優勝。メキシコベラクルス芸術大学より、アルパ・マエストラの称号を授与される。  
2000年のデビューアルバム「INOCENCIA」から、2年間で5枚のアルバム（「POESIA」「PASION」「TESORITO」「SALUD!」）及び、マキシシングル「クリスマスイブ」をキングレコードより発売。クラシックアルバム部門において販売枚数第1位及び14週連続チャートインを記録するなど大好評となる。また近年はオリジナル曲を多数発表し、テレビのテーマ曲として使

われるなど、作編曲家としても高い評価を得る。国内外を問わず積極的にツアーを行い、メディアにも多数出演。

2005年ユニバーサルミュージックよりオリジナル曲をメインにしたアルバム「mika AGEMATSU」を発表。またベストアルバム「MAXIMA」（キングレコード）を発表。11月には、先駆的活動をしている女性に贈られる「エイボン・アワーズ・トゥ・ウイメン2005」において「エイボン芸術賞」を受賞。12月に韓国ソウルに招かれて、アジアでは海外初となるコンサートを現地の弦楽四重奏団を交えて行う。大晦日のTBSテレビ「第47回 輝く!日本レコード大賞」においてゲスト出演、演奏を行う。

日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」の音楽部門にて「今年の顔」として紹介される。

Chapter  
22  
2007  
1/28  
E  
■開場 13:30 ■開演 14:00



江崎 浩司

江崎浩司 EZAKI Koji (リコーダー バロック・オーボエ)

中学3年の時に全日本リコーダーコンテストで金賞を受賞するなど、小学生の頃より数々のコンクールで受賞。  
1995年桐朋学園大学古楽器科卒業。リコーダーを花岡和生、バロック・オーボエを本間正史の各氏に師事。  
1996年古楽コンクール第2位受賞。

2000年ブリュージュ国際コンクール・アンサンブル部門第2位及び聴衆賞を獲得。リコーダー、バロック・オーボエのほか、バロック・ファゴットを堂阪清高、ジャズ・サクソスを早坂紗知の各氏に師事。「バロックからジャズまで」というコンセプトで楽しさ溢れるコンサート活動を展開。クラシックの名曲に編曲を加え、超絶技巧や新しい演奏技法を駆使するなど、工夫を凝らした音楽創りが高く評価されている。自身の脚本による音楽と落語とのコラボレーションなど、古楽の常識にとらわれない演奏スタイルを探究しており、新しい企画を次々と発表している。

2006年度より公共ホール音楽活性化事業の登録アーティスト。今後のソロ活動に益々の期待が寄せられている。

現在、古楽アンサンブル「タブラトゥーラ」「ラ・フォンテーヌ」他メンバー。CDは2004年にリコーダーのソロ・アルバム「空飛ぶ笛」をコジマ録音よりリリースした（2005年1月レコード芸術月刊優秀録音）ほか、バロック・オーボエのソロ・アルバム「いとしい人」「J.S.バッハ ソナタ」をマイスターミュージックよりリリースしている。

長久真実子 NAGAHISA Mamiko (チェンバロ)

兵庫県立西宮高校音楽科にピアノ専攻で在学中、チェンバロに興味をもつ。東京芸術大学チェンバロ科卒業。同大学院修了。在学中の1996年に安宅賞受賞。チェンバロ・通奏低音を鈴木雅明、オルガンは今井奈緒子、室内楽を小林道夫の各氏に師事。

通奏低音奏者としてパッサ・コレギウム・ジャパン、神戸市内合奏団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団等の定期演奏会及びCD録音に参加。アンサンブル、通奏低音奏者として定評があり、多くのアーティストと共演している。特にリコーダー、バロックオーボエ奏者である江崎浩司氏の共演者として、多くのコンサートやレコーディングを行う。NHK-FMリサイタル出演。

古楽演奏集団「トロヴァトーリ・レヴァンティ」「Ko-ha-ku」メンバー。東京芸術大学古楽科非常勤助手。



長久 真実子

photo: K.Miura

Chapter  
23  
2007  
2/18  
E  
■開場 13:30 ■開演 14:00



大森 智子

大森智子 OHMORI Tomoko (ソプラノ)

昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第11期修了。

1992年に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院を審査員全員一致の首席で卒業、審査員特別賞受賞。その後、パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。在仏中、オペラはカンテル市での「カルメン」のミカエラ、パリ・オペラ座での「カルメル会修道女の対話」等に出演、またフランス国内やベルギーなどで宗教曲コンサートや各種コンサートに出演する。

帰国後の1997年、昭和音大オペラに「リータ」のタイトルロールで出演、その後も「愛の妙薬」のアディーナ、「夢遊病の娘」のアミーナと出演し、2004年「ルチア」のタイトルロールでも好評を得た。

2000年新国立劇場に「トスカ」の羊飼いでデビュー、2001年には藤原歌劇団に「マクベス」の幻影でデビュー、ついで「イル・カンピエッロ」のニューゼで好演した。またコンサート歌手としても、全国各地でおしゃべりや語りを交えたコンサート活動を行うほか、透明感のある声質を生かし、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」などの宗教曲ソリスト、イタリア初期バロックやフランスバロックの作品を歌い、ソロリサイタルやラモールのオペラに出演するなど活躍の場をさらに広げている。

2003年11月、CD「モンテヴェルディ集〜祈りの歌」を発売。これまで細川久美子、南條年章、エディット・セリグ、ベータレ・ゴットリーブ、牧野正人の諸氏に師事。

2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回日本古楽コンクール第2位。平成14・15年度公共ホール活性化事業アーティスト。藤原歌劇団員。昭和音楽大学講師。

白石光隆 SHIRAIISHI Mitsutaka (ピアノ)

1989年に東京芸術大学大学院を修了後、ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナバックウアー国際奨学金コンクール入賞。

1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンター内アリスタリーホールでジュリアード・オーケストラと協演。

1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門・木下賞（共演）受賞。レパートリーも広く、邦人、現代作品の分野でも評価が高く、ジャズへのアプローチも積極的に行っている。

吉松隆、長生淳らの作品を入れたCD「レグルス回路」は、山野楽器1998年度アカデミー賞（現代曲部門）を受賞。また「109」「大指揮者のピアノ曲」「作曲家ムラヴィンスキー」他、いずれも好評である。キングインターナショナルとのベートーヴェン・ソナタシリーズの収録を開始し、2006年8月23日に3大ソナタを収めたアルバム第1弾をリリース。また、成田為三ピアノ曲全集（世界初録音）のレコーディングも予定。

毎年東京で開催しているリサイタルも19回を数え、意欲的なプログラミングはもとより、近年は透明感ある音に奥行きと厚みが増え、圧迫的なリズム感と、生き生きと説得力のある演奏スタイルで、回を重ねるごとにファンを増やしている。次代を担う実力派であると同時に、柔軟な思考回路を持った豊かな人間性、ピアニストで音楽人、白石光隆の宇宙は際限がない。

ピアノを金澤桂子、高良芳枝、故・伊達純、小林仁、マーティン・キャンンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京芸術大学ピアノ科非常勤講師。



白石 光隆